

## 編集後記

沖縄県小児保健協会が設立されたのは日本復帰の翌年、昭和48年（1973年）であった。発起人は稲福盛輝先生、山本達人先生、知念正雄先生で、第1回の発起人会のあと幹事会など7回に及ぶ準備会を経て、5か月後には設立総会ならびに学会へとこぎつけた。初代会長には仲地吉雄先生を頂き、理事には県小児科医の重鎮、琉大保健学部や看護協会のリーダーという実力者ぞろいの布陣で当協会は船出した。

協会の活動の3本柱として学術活動（学会の開催、機関誌の発行）、広報活動（講演会、新聞への啓蒙記事連載、書籍の出版）、乳幼児健康診査（市町村健診、先島一斉健診）がある。県や市町村の支援を受け、役員や一般会員の精力的な働きが、わが協会を発展させる大きなエネルギーとなった。

これまでの協会の活動は、さいわい全国の小児保健関係者から高い評価を与えられている。当協会が昭和57年に第29回日本小児保健学会主催者に推薦され、また平成4年に第44回保健文化賞受賞の栄に浴したのもその証拠であろう。

この記念誌には大田県知事、平山日本小児保健協会会長、親泊市長会長、山城町村会長、比嘉県医師会長の御祝辞を頂戴した。心から感謝申し上げます。また協会の活動を支援して下さった県環境保健部の砂川部長、県人材育成財団の津留理事長、琉球新報社の三木編集局長、沖縄タイムス社の由井編集局長を初め、多くの方々の玉稿を戴いた。協会が20年の間に一定の業績を残すことができたのは、多くの方々のご支援があったためだということを私たちはよく理解している。

20年の足跡をまとめた小冊子を発行できたことは私たちの大きな喜びである。今後10年、20年先、沖縄県小児保健協会がさらに発展し、沖縄の子どもたち、日本の子どもたちのみならず、世界の子どもたちのために力を尽くすようになると私は信じている。会員の皆さん、新たな目標に向かって、今日からともに歩き出しましょう。

安次嶺 馨

### 編集委員

安次嶺馨 石川清治 落合靖男 玉那覇栄一 宮城雅也 新里厚子  
仲村幸子 小渡有明 大宜見義夫 仲里幸子 福盛久子

[トビラ写真提供] 安次嶺 馨

沖縄県小児保健協会20年のあゆみ

平成7年3月31日発行

発行人 小渡有明

編集代表 安次嶺 馨

発行所 社団法人 沖縄県小児保健協会

〒900 那覇市旭町35番地

TEL 098 - 863 - 8462

印刷所 沖縄コロニー印刷